

橋本 広大 先生

先生のプロフィール

【出身地】 千葉県市川市

【専攻】 刑法

【近年(2~3年)の担当科目】

刑法総論

法と人間の尊厳

外書購読



Q.講義時に心掛けていることはありますか？

A.全体として読み上げ口調にならないように心がけています。分かりやすい説明に努めていることももちろんですが、難しい論点についても避けずに取り上げ、内容のレベルを下げないことも大事にしています。

Q.新入生、初学者に向けて先生の研究内容、科目の魅力について教えて下さい。

A.最近では犯罪収益規制に研究の重点を置いています。端的に言えば、犯罪により得られたカネをいかにして適切に剥奪することができるかを探究するテーマです。日本では、基本的にこれは没収という刑罰により行われてきましたが、刑罰である以上、有罪判決が必要です。もっとも、組織的な態様で行われる詐欺事案などでは、組織のアジト的な場所から多額の現金が見つかったも、有罪判決を得られるのはその一部との関係での犯罪行為についてののみだったりもします。ここで、有罪判決が得られていなくても犯罪収益を剥奪することができる制度（有罪判決に基づかない没収制度）が望まれるわけですが、国際的にはむしろこのような制度を国は持たなければならないという義務的なものと把握されるようになってきています。日本にこのような制度を導入するには、これまで刑罰として没収を位置づけてきた伝統や常識に切り込まなくてはなりません。そのあたりが理論的に難しく興味深いテーマだと感じています。

Q.今の専門科目に興味を持った理由はなんですか？

A.明確なきっかけがあったというよりは、むしろ刑法の講義（刑法総論を鈴木左斗志先生、刑法各論を佐藤拓磨先生に学びました）を受けていて自然と興味を持つようになりました。

Q.先生が過去に担当していたゼミ（およびゼミ生）の特徴はどうでしたか？

A.基本的にみなさん真面目でしっかり地に足のついた議論ができていると思います。他人への思いやりや尊重の意識も当たり前に持っていて、ゼミの時間だけでなく、イベントや懇親会も良い雰囲気だと感じています。

Q.先生が勉強以外にも力を入れていたことはなんですか？

A.力を入れていたとまでいえるか分かりませんが、大学時代は、個別塾の講師のアルバイトと、趣味のテニスとピアノには一定の時間や労力を割いていました。テニスとピアノは今でも続けています。

Q.先生の好きな言葉（座右の銘）はありますか？

A.言葉というより考え方ですが、身近なことでよいので、やりたいことを早め早めに行うということだと思います。例えば、アルバイトを始めてみる（変えてみる、増やしてみる）、興味のあるスポーツをやってみる、読んでみたかった本を読み始める、などです。東日本大震災で（私は大学1年生でした）、身近な関心を行動に移せる機会・状況は貴重なものと認識したのですが、コロナ禍でそれを再認識しました。

Q.もし先生が現代の大学生だったら、どんなことをしたいですか？

A.私が大学生の時に既にスマホは出始めていましたが、当時は（ほとんど）サブスクがありませんでした。サブスクでたくさん音楽を聴いたり、映画とかを観たりしたいですね。

Q.南山大学に来て、一番印象に残っている事はなんですか？

A.坂が多いことですね…(笑)。

Q.先生はたくさんライブに行かれていますが、好きなアーティスト、オススメの曲を教えてください！

A.最も好きなアーティストはB'zで、これまで39回ライブに行っています。オススメの曲は、「さまよえる蒼い弾丸」、「さよなら傷だらけの日々よ」、「ギリギリ chop」です。スピッツも好きで、6回ライブに行っています。オススメの曲は、「歩き出せ、クローバー」、「渚」、「楓」です！あとは、何かプレッシャーのかかる仕事などが終わったタイミングで聴くのがSteve Vaiの「Feathers」、落ち着きたいときに聴くのがSteely Danの「Babylon Sisters」です。

学生に向けて一言お願いします！

少しでも興味のあることには何でも挑戦して、悔いのない大学生活としてください。

★ プログレッシブ ゼミの実態！

★橋本先生のトリセツ

橋本先生はとにかく優しく、学生とお話をたくさんしてくれます。発表後に、先生から直接フィードバックいただけるのですが、その質問が鋭く、新たな視点を与えてくださいます！先生の人柄に惹かれ、橋本ゼミにはベーシック演習からずっとお世話になっている人や、ミドル演習で一度違うゼミへ行ったが、やっぱり先生のところで勉強したいとアドバンストで橋本ゼミに戻ってきた人もいます！

日々や休暇中の課題

【日々の準備、課題】

各クォーターに1回の報告

（3～4人のグループを作り、1つのテーマを分担してレジュメを作成します。）

【長期休暇課題】

なし

活動内容

報告担当者は事前に作成したレジュメをもとに発表します（判例や文献の紹介、説明、問題提起）。報告者が提示してくれた問題提起をもとに、班に分かれて話し合います。

先生からのフィードバックや、学生からの質疑応答の時間もあり、理解をより深めることができます！